

# 子育てと幼児教育

令和3年12月号 制作：天使幼稚園

## 今回のテーマ：子どもの世界に飛び込む

子育ての悩みは尽きないものです。はじめての子育てでは分からない事ばかり。自分の子育てで本当に合っているのだろうか？子どもにはどの様に接すればいいのだろうか？と悩んでいませんか。

育児書や子育ての本を読んだからといって、それが正解だとは限りません。なぜなら、その子は唯一無二の存在で、その子に合わせた子育てにはマニュアルがないからです。ですから子育てで悩むことは当たり前で、悪いことではないのです。

### 子どもの目線にしゃがんでみよう

子どもの目線に立つとはよく聞く言葉だと思います。立つと言っても子どもの方が小さいので、実際には子どもの目線までしゃがむことが大切です。これは文字通り、子どもの目線までしゃがんで、そこから見えるものがどの様なものかを確認することです。例えば、子どもがティッシュを取り続けているとします。親なら「もったいないことしないで」と怒りたくもなります。でもそこで、子どもの目線までしゃがんで見てください。ティッシュはどの様に見え

るのか、ティッシュが次々と出てくるのが面白かったのか。子どもには何が楽しくて、どんなことに興味を持つのか、色々と気付くことがあるはずです。

### 見つめる、微笑む、褒める、スキンシップ

子どもが親と目が合う時、それは子どもにとってとても安心できる瞬間です。安心できるから、冒険してみようという気持ちになります。だからどんな時も子どもを見つめてあげることが大切です。そして子どもは笑顔が大好きです。何もなくても微笑み顔だけで子どもは明るい気

持ちになって前向きに行動するようになります。

褒めるときにもコツがあります。子どもが絵を描いたと持ってきたときは、「良く描けたね」と結果を褒めるのではなく、「すごくきれいな色を使ったね」とか「丁寧に塗れたね」など、具体的に絵を描いた過程を褒めてあげると、子どものやる気を引き出すことができます。

頭を撫でたりハグしたりスキンシップも頻繁にとるようにしましょう。スキンシップは、幸せホルモンと呼ばれるオキシトシンを分泌させるので、親子の信頼関係が一層深まります。子どもと一緒に幸せな時間を増やしていきましょう。(了)

